2．金融商品の時価等に関する事項

平成26年９月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
⑴　貸付金	23,119,767	24,870,037	1,750,270
⑵　有価証券			
満期保有目的のもの	408,999	408,997	△　2
⑶　現金預け金	717,990	717,990	―
資産計	24,246,757	25,997,024	1,750,267
⑴　債券	19,462,642	20,323,077	860,434
⑵　借入金	75,500	77,130	1,630
⑶　金融商品等受入担保金	103,223	103,223	―
負債計	19,641,366	20,503,432	862,065
デリバティブ取引（＊１）			
ヘッジ会計が適用されているもの	4	4	―
デリバティブ取引計	4	4	―

（＊１）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については△で示しております。

（注１）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

資産

⑴　貸付金

貸付金については、繰上償還等を見込んだ将来のキャッシュ・フローを、平成26年９月30日現在の国債レートを用いて算出した割引率で割り引いて時価を算定しております。

⑵　有価証券

すべて満期保有目的の債券であり、国庫短期証券については、市場価格を時価としております。

また、譲渡性預金については、全て短期であるため、時価は帳簿価額に近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（単位：百万円）

	種類	中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	―	―	―	―
	小計	―	―	―
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	国庫短期証券	29,999	29,997	△　2
	譲渡性預金	379,000	379,000	―
	小計	408,999	408,997	△　2
合計		408,999	408,997	△　2

⑶　現金預け金

満期のない預金については、当該帳簿価額を時価としております。満期のある預金についても、全て短期であるため、時価は帳簿価額に近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

負債

⑴　債券

当機構の発行する債券の時価は、市場価格のあるものについては市場価格によっており、市場価格のないものについては、元利金の合計額を同様の債券を発行した場合に適用されると考えられる利率で割り引いて現在価値を算定しております。

また、外貨建債券については、通貨スワップの振当処理の対象とされており、当該債券の時価とスワップ取引の時価の合計額により算定しております。

なお、変動金利による債券については、金利スワップの特例処理の対象とされており、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を、同様の債券を発行した場合に適用されると考えられる利率で割り引いて現在価値を算定しております。

⑵　借入金

長期借入金の時価は、元利金の合計額を当機構の債券を発行した場合に適用されると考えられる利率で割り引いて現在価値を算定しております。

⑶　金融商品等受入担保金

金融商品等受入担保金については、デリバティブ取引の担保にかかるものであり、預託期間は全て短期であるため、時価は帳簿価額に近似していることから、当該帳簿価額を時価としています。

デリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているもの

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等	うち１年超	時価	当該時価の算定方法
原則的処理方法	金利スワップ取引	債券 長期借入金	83,500	83,500	4	取引先金融機関から提示された価格によっている。
	支払変動・受取固定		58,500	58,500	442	
	支払固定・受取変動		25,000	25,000	△　437	
金利スワップの特例処理	金利スワップ取引 支払固定・受取変動	債券	115,000	115,000	※１	
通貨スワップの振当処理	通貨スワップ取引	外貨建債券	1,131,059	1,131,059	※２	
為替予約等の振当処理	為替予約	外貨預金	109,000	―	※２	
合計			1,438,559	1,329,559	4	